



栗原小だより

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



令和3年度10月号

令和3年10月1日

タブレット端末の適切な利活用に向けて

校長 大井 敏彰

をいただく一方、子供たちのオンライン授業の受け方について、貴重な情報提供をいただきました。

8月30日に2学期が始まってから約1ヶ月間、対面とオンラインを組み合わせた教育課程を実施しました。この間、保護者の皆様にはオンライン授業の実施にご協力いただき、誠にありがとうございました。お陰様で、子供たちの学びを止めることなく、ほぼ計画通りに学習を進めることができました。特に、お仕事をされている保護者の方にはお子さんのために時間を調整していただきましたことにも、改めて御礼申し上げます。

さて、この1ヶ月間でタブレット端末を活用した成果が校内の至る所で見られましたので、その一例を紹介します。

【スキルの向上】

- どの児童も自分でログインしたり、端末で発言や意見交換をしたりすることができるようになった。
- チャットやタイピングアプリを活用して、文字入力力が向上した。

【学びの充実】

- 登校児童とオンライン児童が協働して、理科の実験を行った。
- Jamboardを活用して、歴史のまとめ資料を個性豊かに作成した。
- 白杖体験の様子を動画で撮影し、障がいのある人の気持ちを考えた。

最近では、子供たちも先生方も、教育活動の中で自然と端末を活用する様子が見られるようになりました。この短期間で、学校の授業が大きく様変わりする様子は、まさに「学びの改革」といえるのではないのでしょうか。

~~~~~

しかし、その一方で新たな課題も見られるようになりました。

任意でご協力をお願いしたオンライン授業のアンケートに11件の回答をいただきました。オンライン授業の内容に関するご意見や取組への感謝の言葉

### 【課題】

- 夕方や夜に Youtube を見ていた。
- オンライン授業に参加しながら別のタブを開き、授業外のサイトを見ていた。また、カメラに映らないところで漫画やスマホをみていた。
- 長時間のオンラインで目の疲れや頭の痛みが増えた。

全ての児童が当てはまるわけではありませんが、タブレット端末を家庭に置いたままにすると、子供たちは目的外の使い方をしながらのめり込んでしまう傾向にもあるようです。

少し前には、小学校で配付したタブレット端末を媒介としたいじめ問題が話題となりました。加害児童はチャットで情報交換をしながら「○○どっきり」と称して、被害児童への攻撃を繰り返したとのことです。文房具のはさみも人に向ければ凶器になるように、タブレット端末も使い方を間違えると凶器になることを思い知らされました。本日から通常日課となりますが、学校としても、この1ヶ月の状況を振り返り、タブレット端末の適切な利活用に向けた体制づくりを早急に進めていきたいと考えています。

今後も、ICTを活用した「学びの改革」を推進しながらも、学校での豊かな教育活動や人との関わりをとおして、くripp子の知・徳・体をバランスよく育てていければと思います。



【3年生の作品です。朝の光で色鮮やかに彩られます。】